

# 岡山県感染症週報

2011 年 第 46 週 ( 11 月 14 日 ~ 11 月 20 日 )

**【お知らせ】12 月 1 日は『世界エイズデー』です。****岡山県では『腸管出血性大腸菌感染症注意報』発令中です。****◆2011 年 第 46 週 ( 11/14 ~ 11/20 ) の感染症発生動向 (届出数)****■全数把握感染症の発生状況**

第 44 週 2 類感染症 結核 6 名 ( 幼児 女 1 名、20 代 女 1 名、30 代 女 1 名、  
40 代 女 1 名、60 代 男 1 名、70 代 男 1 名 )  
4 類感染症 レジオネラ症 1 名 ( 70 代 男 )  
第 45 週 2 類感染症 結核 5 名 ( 50 代 男 1 名、60 代 女 1 名、90 代 男 3 名 )  
4 類感染症 レジオネラ症 1 名 ( 60 代 男 )  
第 46 週 2 類感染症 結核 1 名 ( 20 代 女 ) の報告がありました。

**■定点把握感染症の発生状況**

- マイコプラズマ肺炎は、患者数が増加しました。
- インフルエンザは、全県で 15 名の患者報告がありました。
- 感染性胃腸炎は、美作地域・備中地域・備前地域で発生が多くなっています。
- 流行性耳下腺炎は、患者数が増加し、備中地域は再びレベル 2 になりました。
- RS ウイルス感染症は、患者数は減少したものの、ひきつづき過去最も多い状態です。
- 手足口病は、減少しましたが、この時期としては患者数が多い状態です。

1. **12 月 1 日は『世界エイズデー』です。** 『エイズとわたし ~支えることと 防ぐこと~』岡山県では『世界エイズデー (12 月 1 日)』の関連事業として、エイズに関する正しい知識等についての啓発活動及び、保健所では夜間等の HIV 抗体検査を実施いたします。詳しくは『[今週の注目感染症](#)』をご覧ください。[【岡山県からのお知らせ 平成 23 年度「世界エイズデー」に実施について】](#)
2. **マイコプラズマ肺炎**の定点あたり患者数は増加し (基幹定点 5 医療機関あたり 1.40 人)、岡山市 4 名、倉敷市 7 名、備北地域 1 名の報告がありました。近年、マクロライド系抗菌薬に耐性を有する株が増加しつつあるとの報告もありますので、注意が必要です。[\(国立感染症情報センター 病原微生物検出情報速報\)](#)
3. **インフルエンザ**は、全県で 15 名 (定点あたり 0.18 人)、倉敷市 9 名、備中地域 6 名の報告がありました。県内の発生はまだ散発的ですが、第 43 週から患者増加がつついています。全国集計第 45 週速報値 (11/7~11/13) によると、全国では定点あたり 0.14 人、第 35 週以降患者増加がつついています。今シーズン (2011/9/5 ~) 第 46 週現在、全国で検出されたインフルエンザウイルスは AH3 型が 57 件、B 型が 18 件、AH1 pdm09 型が 2 件報告されています。[\(国立感染症情報センター インフルエンザウイルス分離・検出速報 2011/2012 シーズン\)](#)
4. **感染性胃腸炎**の定点あたり患者数はわずかに増加しました (定点あたり 5.37 → 5.43 人)。特に美作地域 (8.67 人)、備中地域 (7.57 人)、備前地域 (6.90 人) で患者発生が多くなっています。冬はロタウイルスや、ノロウイルスによる感染性胃腸炎の発生が多く、例年 11 月下旬頃より患者の増加が見られます。手洗いを励行するなど感染予防に心がけましょう。
5. **流行性耳下腺炎**の定点あたり患者数は増加しました (定点あたり 1.02 → 1.17 人)。備前地域 (定点あたり 0.80 → 1.40 人)、備中地域 (定点あたり 2.71 → 3.71 人) で患者が増加し、備中地域では再び感染症発生レベル 2 になりました。
6. **RS ウイルス感染症**の定点あたり患者数は減少しましたが (定点あたり 0.74 → 0.59 人)、ひきつづき過去最も多い状態です。1 歳以下の乳幼児が 80% を占めており、乳幼児では重症化することもありますので注意が必要です。
7. **手足口病**の定点あたり患者数は 2.06 人で、ひきつづきこの時期としては患者が多い状態です。3 歳以下の幼児が全体の約 70% を占めています。
8. **腸管出血性大腸菌感染症**は、今年はこれまでに 64 名の発生がありました。11 月は 1 名の発生があり、発生は減少していますが、ひきつづき注意が必要です。

## 流行の推移と発生状況

疾病名	推移	発生状況	疾病名	推移	発生状況
インフルエンザ	↘	★	RSウイルス感染症	↘	★★
咽頭結膜熱	➡	★	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	➡	★
感染性胃腸炎	➡	★★★	水痘	➡	★
手足口病	➡	★	伝染性紅斑	⬆	★
突発性発疹	↘	★★	百日咳	➡	★
ヘルパンギーナ	⬆	★	流行性耳下腺炎	↘	★★
急性出血性結膜炎	➡		流行性角結膜炎	↘	★
細菌性髄膜炎	➡		無菌性髄膜炎	➡	
マイコプラズマ肺炎	↘	★★★	クラミジア肺炎	➡	

### 【記号の説明】

前週からの推移： ↓ 2倍以上の減少    ↘ 1.1～2倍未満の減少    ➡ 1.1未満の増減  
 ↗ 1.1～2倍未満の増加    ⬆ 2倍以上の増加

流行状況： 空白 発生なし    ★僅か    ★★少し    ★★★やや多い    ★★★★多い    ★★★★★非常に多い

※定点当り患者数について、過去5年間の標準偏差値に感染症の種類毎に係数を乗じた値を5等分し、流行状況の目安として5段階で表示しています。

## 今週の注目感染症

### 後天性免疫不全症候群（エイズ AIDS）

12月1日は『世界エイズデー』です。『エイズとわたし ～支えることと 防ぐこと～』『世界エイズデー』は世界レベルでのエイズのまん延防止と、患者・感染者に対する差別・偏見の解消を目的にWHO（世界保健機構）が制定したもので、毎年12月1日を中心に、世界各国でエイズに関する啓発活動が行われています。岡山県では、『世界エイズデー』の関連事業として、エイズに関する正しい知識等についての啓発活動及び、保健所では夜間等のHIV抗体検査を実施いたします。このうち備前・美作保健所の検査日には、検査当日に結果をお知らせできる迅速検査を無料・匿名で受けることができます（要予約）。

レッドリボン  
エイズに対する理解と  
支援の象徴



#### ○県保健所・支所における世界エイズデー関連検査実施日時・啓発活動等はこちらから

##### [【岡山県からのお知らせ 平成23年度「世界エイズデー」に実施について】](#)

県保健所・支所における検査の予約は、検査実施日前日17時まで受け付けており、希望者は梅毒・性器クラミジア感染症検査も同時に受けることが出来ます。（美作保健所の受付は終了致しました。）

#### ○岡山市保健所、倉敷市保健所のエイズ・性感染症相談、検査はこちらから

#### 【後天性免疫不全症候群（エイズ AIDS）とは】

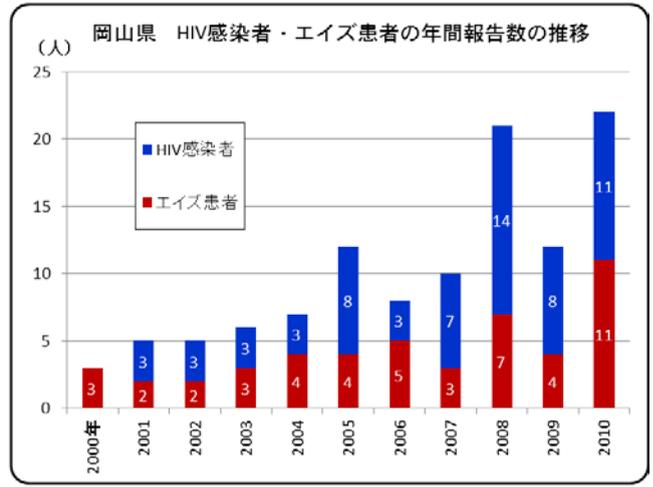
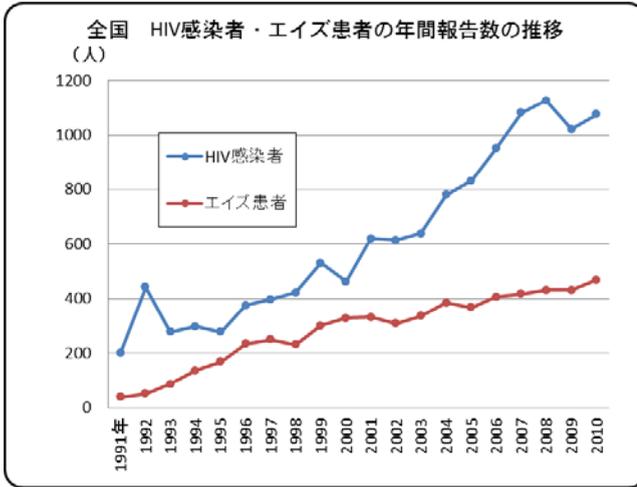
後天性免疫不全症候群は、ヒト免疫不全ウイルス（HIV）に感染することによっておこります。HIVに感染すると、自覚症状のない時期が数年から10年以上つづき、病気とたたかう抵抗力（免疫）が次第に低下して、さまざまな感染症やがんなどを発症するようになります。この状態がエイズです。

従来は感染から発症までに約10年かかるといわれていましたが、最近では1年以内で免疫力が低下し、治療が必要なレベルにいたる感染者も見られるという報告もされており、早期発見が重要です。

（国立感染症情報センター 「[HIV感染症の診療現場における最近の話題](#)」）

HIV感染者 = HIVに感染しても、エイズを発症していない人  
 エイズ患者 = エイズという病気を発症した人

【HIV 感染とエイズ患者】



「いきなりエイズ」とは、HIVに感染した人が、何も治療を受けないままエイズを発症して、初めてHIVに感染していたことを知る状態をいいます。

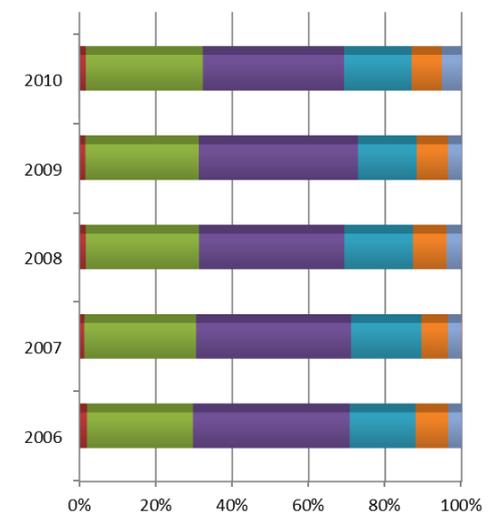
エイズ発生動向調査によると、2010年の岡山県における報告者数はHIV感染者11名、エイズ患者（いきなりエイズ）11名で、いきなりエイズの人口10万対報告件数は全国第4位（0.566）となっています。いきなりエイズは、エイズ発症前に治療を開始した人に比べ治療が難しくなりますが、これはHIV検査を受けることにより防ぐことができます。[【岡山県健康推進課 エイズストップ作戦の推進】](#)

2010年 人口10万対報告数におけるHIV感染者・エイズ患者上位10位の自治体

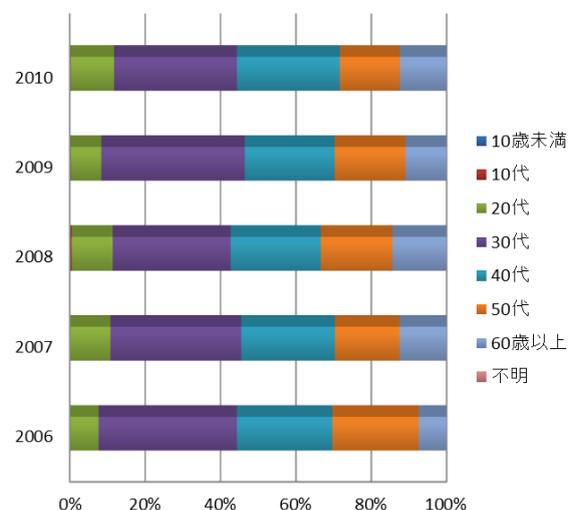
HIV感染者上位自治体			エイズ患者上位自治体		
	自治体	人口10万対		自治体	人口10万対
1	東京都	3.039	1	東京都	0.813
2	大阪府	2.234	2	大阪府	0.767
3	愛知県	1.107	3	愛知県	0.756
4	沖縄県	0.790	4	岡山県	0.566
5	福岡県	0.690	5	鳥取県	0.510
6	静岡県	0.664	6	徳島県	0.509
7	奈良県	0.643	7	奈良県	0.500
8	広島県	0.629	8	福井県	0.496
9	神奈川県	0.608	9	福岡県	0.453
10	石川県	0.598	10	栃木県	0.399

厚生労働省エイズ動向委員会 平成22（2010）年エイズ発生動向より

2010年 全国 HIV感染者年齢分布



2010年 全国 エイズ患者年齢分布



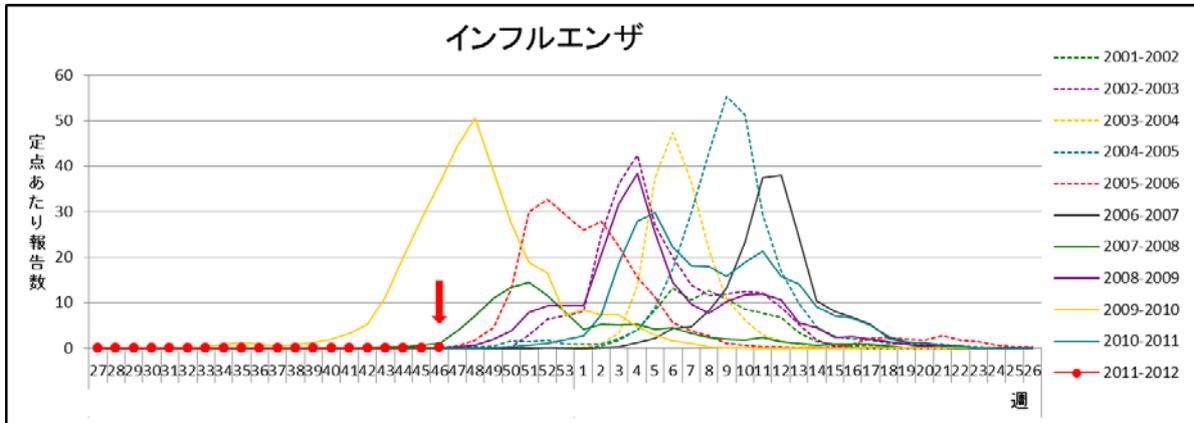
年齢分布では HIV 感染者は 20 代、30 代に集中しており、エイズ患者は 30 代以上が多く、エイズ患者のほうが HIV 感染者より年齢層が高くなっています。

保健所別報告患者数 において **数字** は感染症マップにおいて レベル3 **数字** は感染症マップにおいて レベル2 を示しています。

## インフルエンザ情報 第 46 週 2011 年 11 月 14 日 ~ 11 月 20 日

### ➤ 岡山県の流行状況

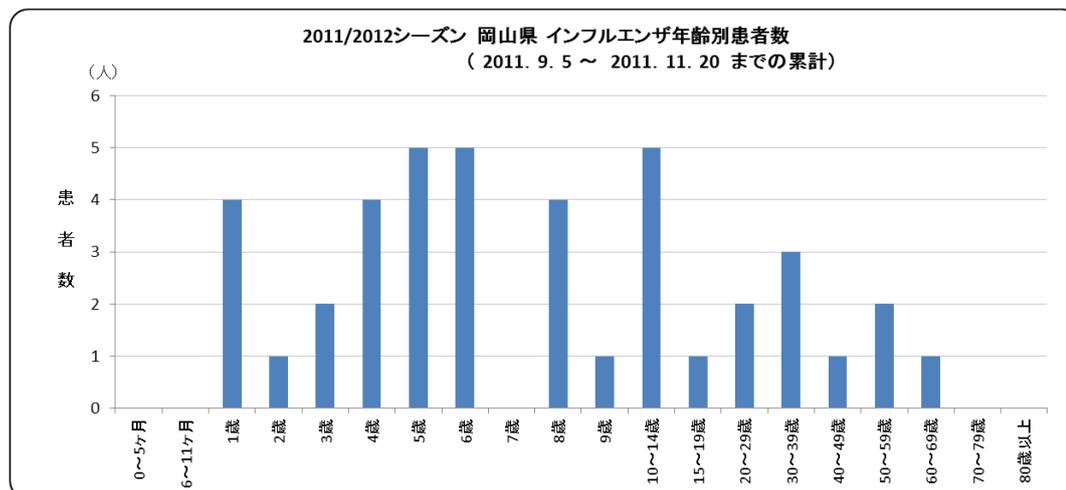
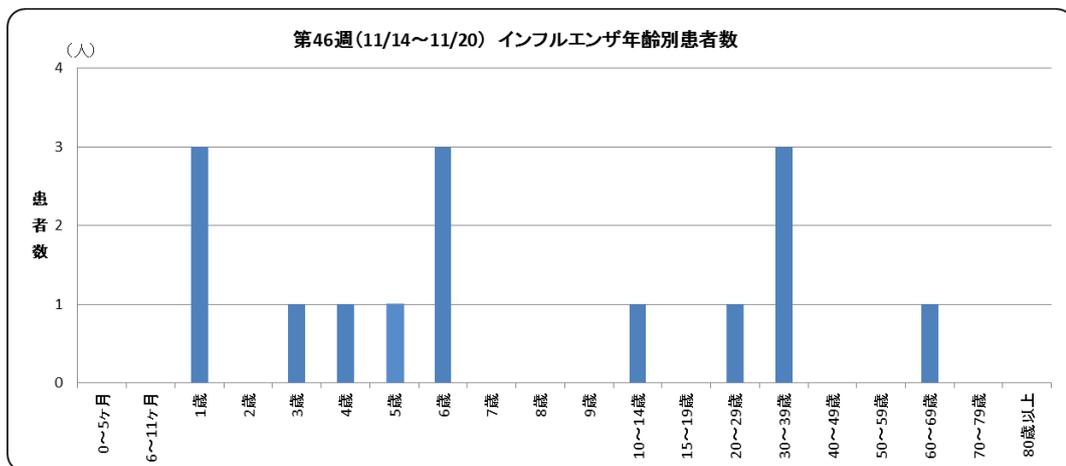
- 岡山県内の患者報告数は 15 名、定点あたり 0.18 人（定点医療機関 84 定点）でした。
- 患者は県南で報告があり、倉敷市 9 名、備中地域 6 名でした。
- インフルエンザの本格的な流行はまだですが、10 月末には学校での臨時休業も発生していますので、手洗い・うがいを励行し感染予防を心がけましょう。



※インフルエンザは、通常、秋から翌年の春にかけて流行するため、今年 27 週～翌年 26 週を 1 シーズンとして、グラフを作成しています。

インフルエンザは、倉敷市で 9 名、備中地域で 6 名の報告がありました（84 定点医療機関 定点あたり 0.18 人）。前週より患者報告数は増加しましたが、県内の発生はまだ散発的です。各年齢で患者報告がありますが、1 歳未満の乳幼児や 70 歳以上の高齢者の報告はありません。学校等の臨時休業や、入院患者の報告はありませんでした。

### ➤ 年齢別患者発生状況 第 46 週（11/14～11/20）

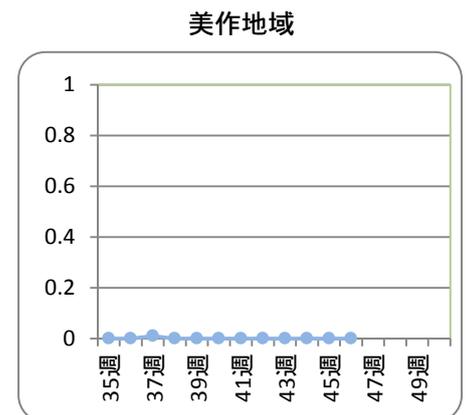
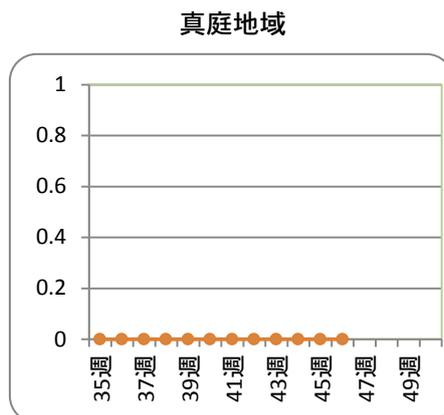
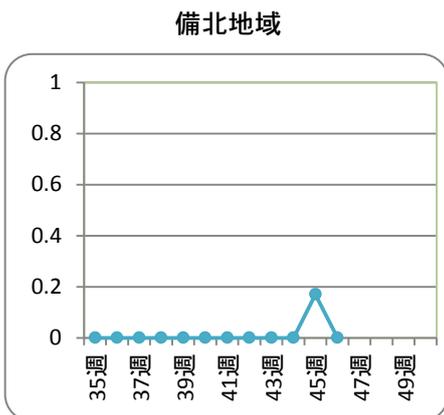
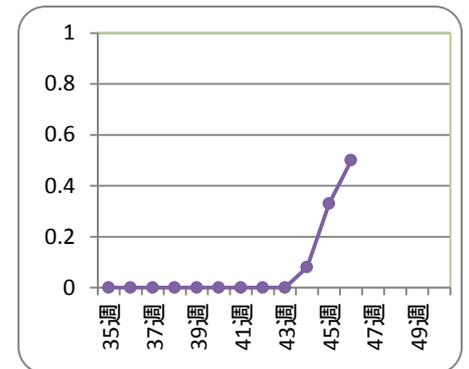
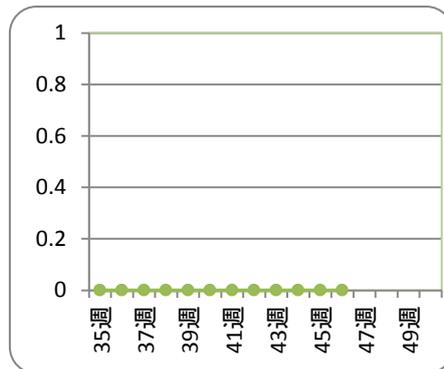
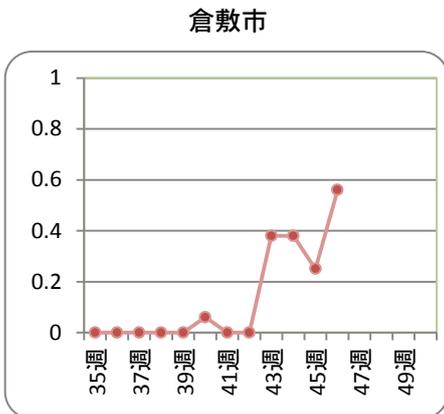
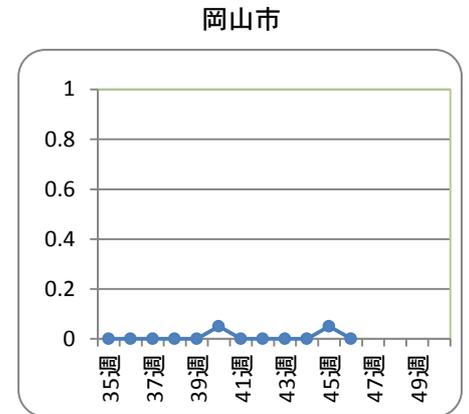
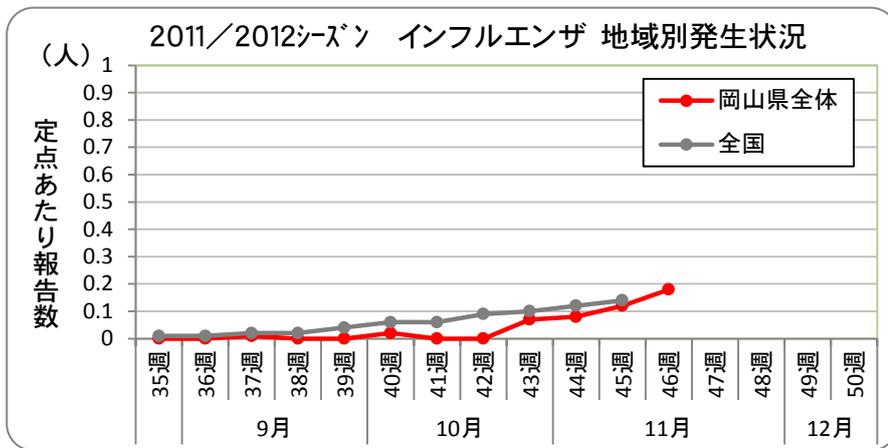


➤ 地域別発生状況

第46週（11/14～11/20）の推移（単位：人）

地域名	発生状況		推移	地域名	発生状況		推移
岡山県全体	患者数	15	↗	備 中	患者数	6	↗
	定点あたり	0.18			定点あたり	0.50	
岡山市	患者数	0	↘	備 北	患者数	0	↘
	定点あたり	0.00			定点あたり	0.00	
倉敷市	患者数	9	↗	真 庭	患者数	0	—
	定点あたり	0.56			定点あたり	0.00	
備 前	患者数	0	—	美 作	患者数	0	—
	定点あたり	0.00			定点あたり	0.00	

【記号の説明】 前週からの推移： ↘ 2倍以上の減少    ↙ 1.1～2倍未満の減少    ↗ 1.1未満の増減  
 ↗ 1.1～2倍未満の増加    ↘ 2倍以上の増加

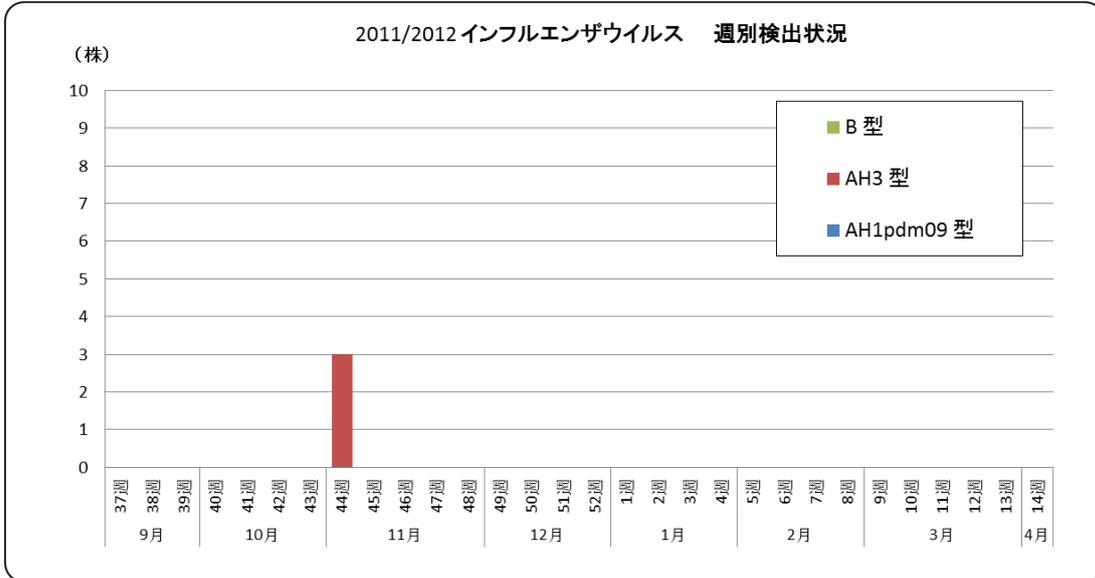


## インフルエンザウイルス検出状況

### 第46週（11/14～11/20）に検出されたインフルエンザウイルス

今週、検出されたインフルエンザウイルスはありません。

### 2011/2012 シーズン インフルエンザウイルス検出状況



### インフルエンザ様疾患による学校等の臨時休業施設数 第46週（11/14～11/20）

今週、学校等の臨時休業はありませんでした。

\* 地域名は、保健所管轄地域を表しています。

地域名	有症者数		欠席者数		施設数合計		休校数		学年閉鎖 学校数		学級閉鎖 学校数		初発 年月日
	今週	累計	今週	累計	今週	累積	今週	累積	今週	累積	今週	累積	
<b>岡山県全体</b>	—	<b>14</b>	—	<b>13</b>	—	<b>1</b>	—	—	—	<b>1</b>	—	—	<b>H23. 10. 31</b>
岡山市	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
倉敷市	—	14	—	13	—	1	—	—	—	1	—	—	H23. 10. 31
備前	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
備中	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
備北	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
真庭	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
美作	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	

### 臨時休業施設数の内訳 第46（11/14～11/20）

今週、学校等の臨時休業はありませんでした。

**今週：0施設 累計：1施設**

施設数	保育所		幼稚園		小学校		中学校		高等学校		その他	
	今週	累積	今週	累積	今週	累積	今週	累積	今週	累積	今週	累積
施設数	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—

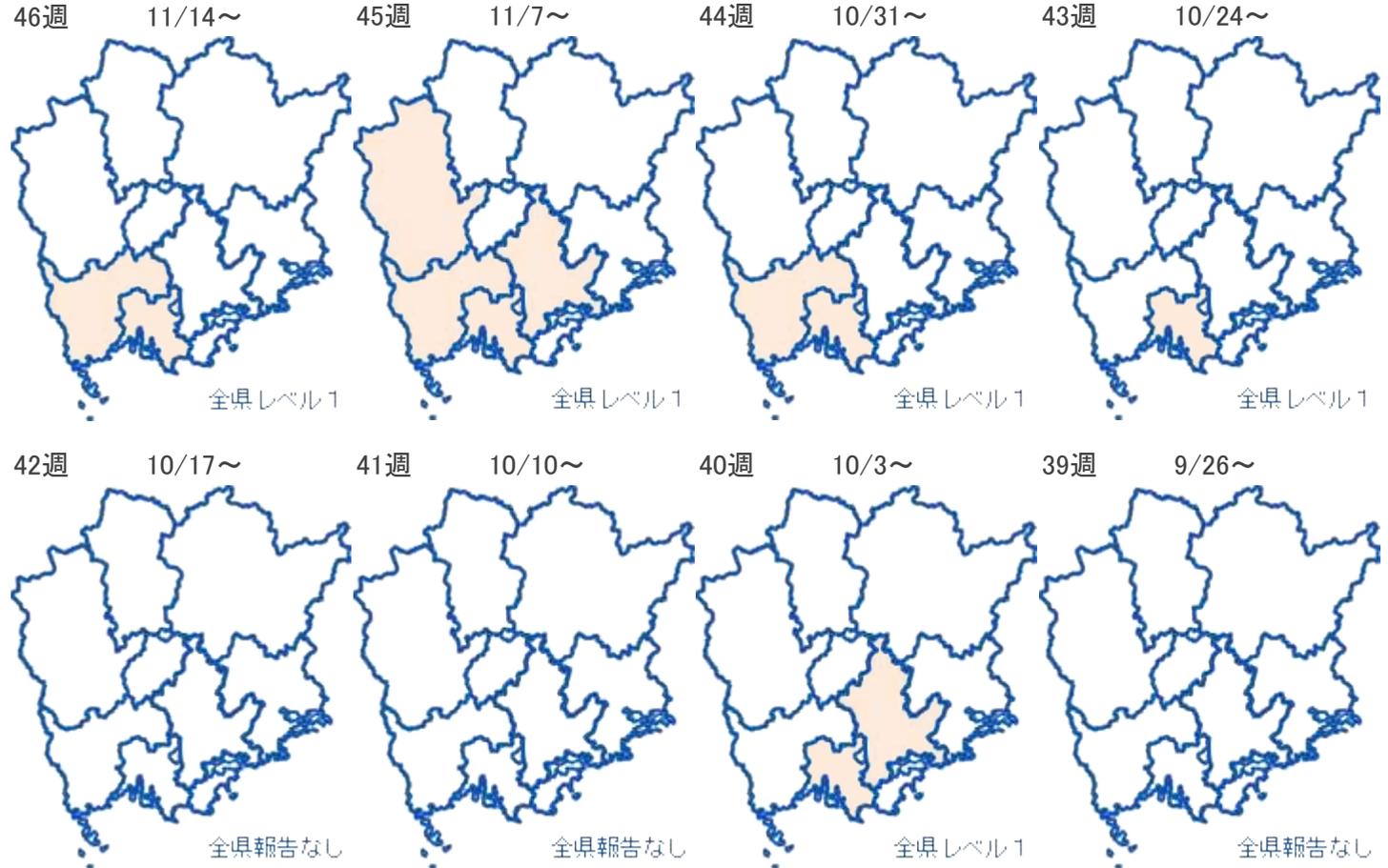




# 岡山県地区別 インフルエンザ感染症マップ 2011年 46週

2011年11月24日

11:33:15



## インフルエンザ

レベル3		レベル2	レベル1	報告なし
開始基準値	終息基準値	基準値	基準値	基準値
30	10	10 以上 30 未満	0 < 10 未満	0

レベル3の開始基準値を一度超えると、終息基準値より下がらないとレベル3が継続されます。

保健所別報告患者数 2011年 46週 (2011/11/14~2011/11/20)

2011年11月24日

疾病名	全県		岡山市		倉敷市		備前		備中		備北		真庭		美作	
	報告数	定点当														
インフルエンザ	15	0.18	-	-	9	0.56	-	-	6	0.50	-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症	32	0.59	16	1.14	6	0.55	-	-	5	0.71	-	-	-	-	5	0.83
咽頭結膜熱	9	0.17	4	0.29	-	-	-	-	1	0.14	-	-	-	-	4	0.67
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	31	0.57	13	0.93	12	1.09	-	-	5	0.71	-	-	-	-	1	0.17
感染性胃腸炎	293	5.43	55	3.93	46	4.18	69	6.90	53	7.57	14	3.50	4	2.00	52	8.67
水痘	42	0.78	21	1.50	2	0.18	2	0.20	11	1.57	-	-	-	-	6	1.00
手足口病	111	2.06	45	3.21	25	2.27	12	1.20	3	0.43	2	0.50	3	1.50	21	3.50
伝染性紅斑	15	0.28	3	0.21	1	0.09	4	0.40	1	0.14	-	-	3	1.50	3	0.50
突発性発疹	30	0.56	14	1.00	9	0.82	1	0.10	2	0.29	1	0.25	-	-	3	0.50
百日咳	1	0.02	-	-	1	0.09	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	5	0.09	1	0.07	1	0.09	-	-	2	0.29	-	-	-	-	1	0.17
流行性耳下腺炎	63	1.17	14	1.00	8	0.73	14	1.40	26	3.71	1	0.25	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	5	0.42	4	0.80	1	0.25	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	12	2.40	4	4.00	7	7.00	-	-	-	-	1	1.00	-	-	-	-
クラミジア肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(- : 0 or 0.00) (空白 : 定点なし)

保健所別報告患者数 2011年 46週 (2011/11/14~2011/11/20)

2011年11月24日

疾病名	全県		岡山市		倉敷市		備前		備中		備北		真庭		美作	
	報告数	定点当														
インフルエンザ	15	0.18	-	-	9	0.56	-	-	6	0.50	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	9	0.17	4	0.29	-	-	-	-	1	0.14	-	-	-	-	4	0.67
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	31	0.57	13	0.93	12	1.09	-	-	5	0.71	-	-	-	-	1	0.17
感染性胃腸炎	293	5.43	55	3.93	46	4.18	69	6.90	53	7.57	14	3.50	4	2.00	52	8.67
水痘	42	0.78	21	1.50	2	0.18	2	0.20	11	1.57	-	-	-	-	6	1.00
手足口病	111	2.06	45	3.21	25	2.27	12	1.20	3	0.43	2	0.50	3	1.50	21	3.50
伝染性紅斑	15	0.28	3	0.21	1	0.09	4	0.40	1	0.14	-	-	3	1.50	3	0.50
百日咳	1	0.02	-	-	1	0.09	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	5	0.09	1	0.07	1	0.09	-	-	2	0.29	-	-	-	-	1	0.17
流行性耳下腺炎	63	1.17	14	1.00	8	0.73	14	1.40	26	3.71	1	0.25	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	5	0.42	4	0.80	1	0.25	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(- : 0 or 0.00) (空白 : 定点なし)

感染症発生動向調査 週情報 報告患者数 年齢別 ( 2011年 第46週 2011/11/14~2011/11/20 )

疾病名	合計	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80~
インフルエンザ	15	-	-	3	-	1	1	1	3	-	-	-	1	-	1	3	-	-	1	-	-

疾病名	合計	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20~
RSウイルス感染症	32	5	9	11	5	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	9	-	1	2	-	1	3	2	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	31	-	1	2	1	5	4	7	1	2	2	-	5	-	1
感染性胃腸炎	293	3	19	42	20	37	21	19	18	11	10	6	27	14	46
水痘	42	1	1	9	4	6	7	4	3	1	3	1	2	-	-
手足口病	111	1	3	38	23	16	12	8	1	2	1	3	2	-	1
伝染性紅斑	15	-	1	-	-	4	1	4	1	3	1	-	-	-	-
突発性発疹	30	-	21	8	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	5	-	-	1	2	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	63	-	-	3	5	8	9	10	5	6	9	2	5	-	1

疾病名	合計	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70~
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	2	-	-	-

疾病名	合計	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70~
細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	12	-	4	5	2	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

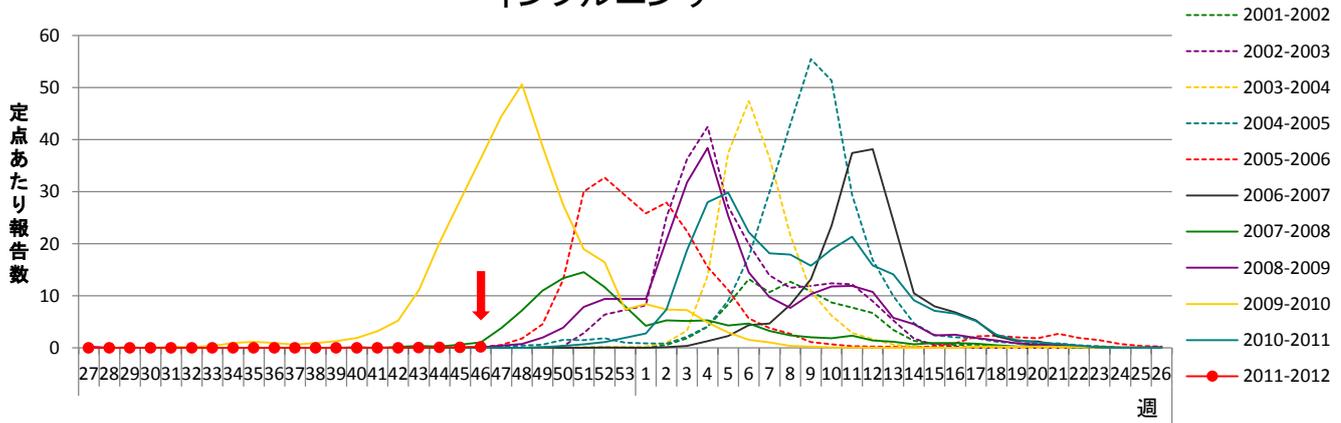
( - : 0 )

# 全数把握 感染症患者発生状況

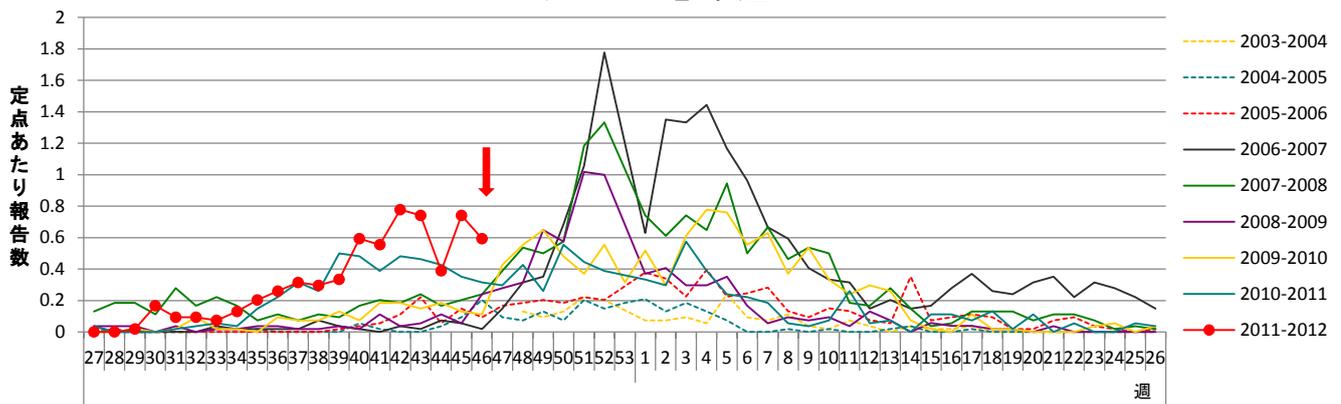
2011年 46週

分類	疾病名	2011			疾病名	2011			疾病名	2011		
		今週	累計	昨年		今週	累計	昨年		今週	累計	昨年
一類	エボラ出血熱	-	-	-	クリミア・コンゴ出血熱	-	-	-	痘そう	-	-	-
	南米出血熱	-	-	-	ペスト	-	-	-	マールブルグ病	-	-	-
	ラッサ熱	-	-	-		-	-	-		-	-	-
二類	急性灰白髄炎	-	-	-	結核	1	438	352	ジフテリア	-	-	-
	重症急性呼吸器症候群	-	-	-	鳥インフルエンザ(H5N1)	-	-	-		-	-	-
三類	コレラ	-	-	-	細菌性赤痢	-	1	-	腸管出血性大腸菌感染症	-	63	66
	腸チフス	-	-	-	パラチフス	-	-	-		-	-	-
四類	E型肝炎	-	1	-	ウエストナイル熱	-	-	-	A型肝炎	-	3	2
	エキノкокクス症	-	-	-	黄熱	-	-	-	オウム病	-	-	-
	オムスク出血熱	-	-	-	回帰熱	-	-	-	キャサヌル森林病	-	-	-
	Q熱	-	-	-	狂犬病	-	-	-	コクシジオイデス症	-	-	-
	サル痘	-	-	-	腎症候性出血熱	-	-	-	西部ウマ脳炎	-	-	-
	ダニ媒介脳炎	-	-	-	炭疽	-	-	-	チクングニア熱	-	-	-
	つつが虫病	-	2	1	デング熱	-	-	7	東部ウマ脳炎	-	-	-
	鳥インフルエンザ	-	-	-	ニパウイルス感染症	-	-	-	日本脳炎	-	-	-
	日本紅斑熱	-	3	-	ハンタウイルス肺症候群	-	-	-	Bウイルス病	-	-	-
	鼻疽	-	-	-	ブルセラ症	-	-	-	ベネズエラウマ脳炎	-	-	-
	ヘンドラウイルス感染症	-	-	-	発しんチフス	-	-	-	ボツリヌス症	-	1	-
	マラリア	-	-	-	野兔病	-	-	-	ライム病	-	-	-
	リッサウイルス感染症	-	-	-	リフトバレー熱	-	-	-	類鼻疽	-	-	-
	レジオネラ症	-	21	19	レプトスピラ症	-	-	-	ロッキー山紅斑熱	-	-	-
五類	アメーバ赤痢	-	10	13	ウイルス性肝炎*3	-	8	7	急性脳炎*4	-	3	1
	クリプトスポリジウム症	-	-	-	クロイツフェルト・ヤコブ病	-	2	2	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	-	1	1
	後天性免疫不全症候群	-	13	22	ジアルジア症	-	2	5	髄膜炎菌性髄膜炎	-	-	-
	先天性風しん症候群	-	-	-	梅毒	-	9	9	破傷風	-	2	1
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	-	-	-	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	-	-	3	風しん	-	1	2
	麻しん	-	4	3		-	-	-		-	-	-

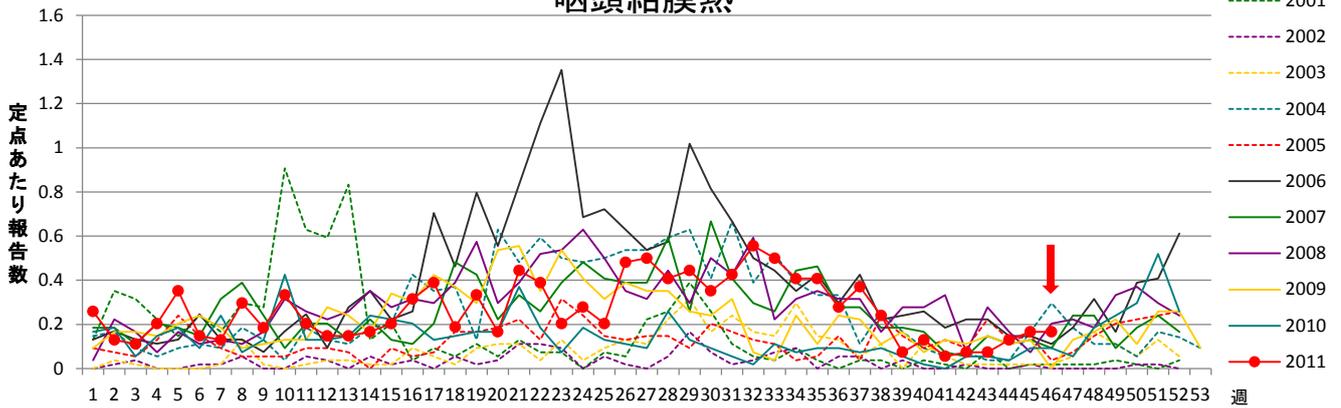
### インフルエンザ



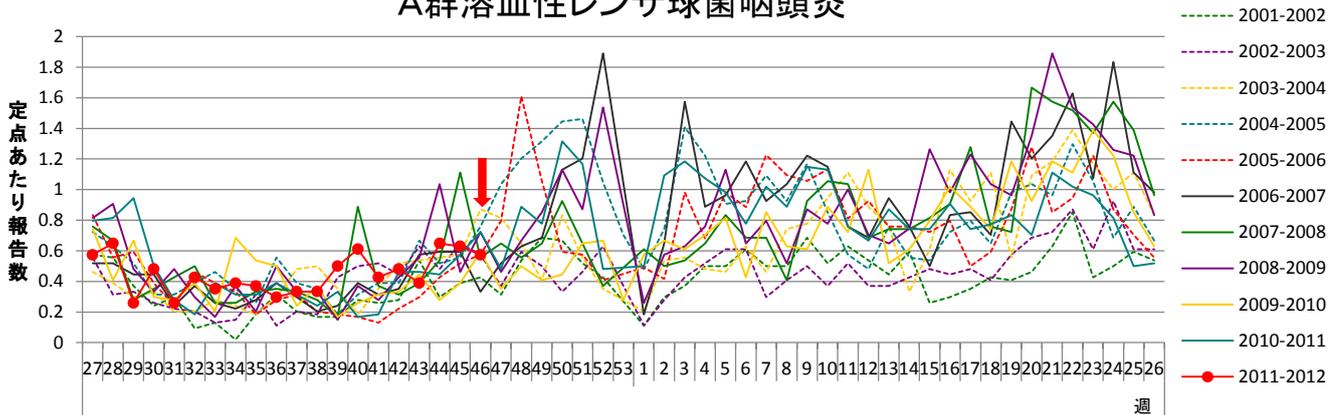
### RSウイルス感染症



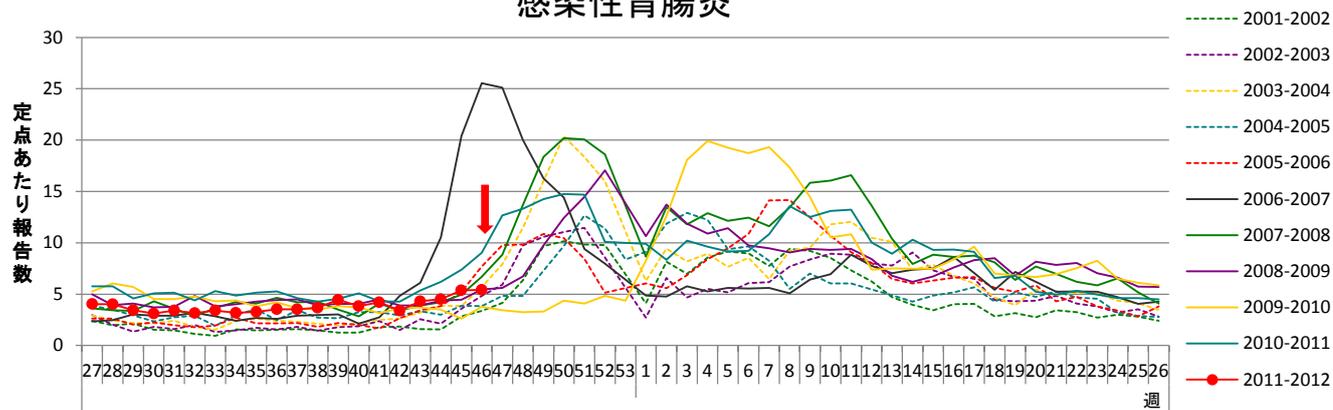
### 咽頭結膜熱



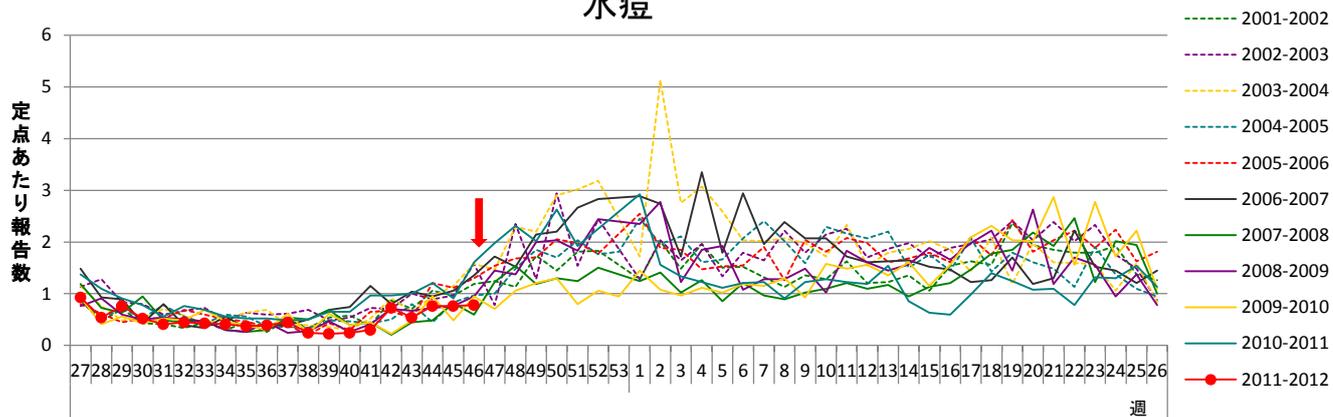
### A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



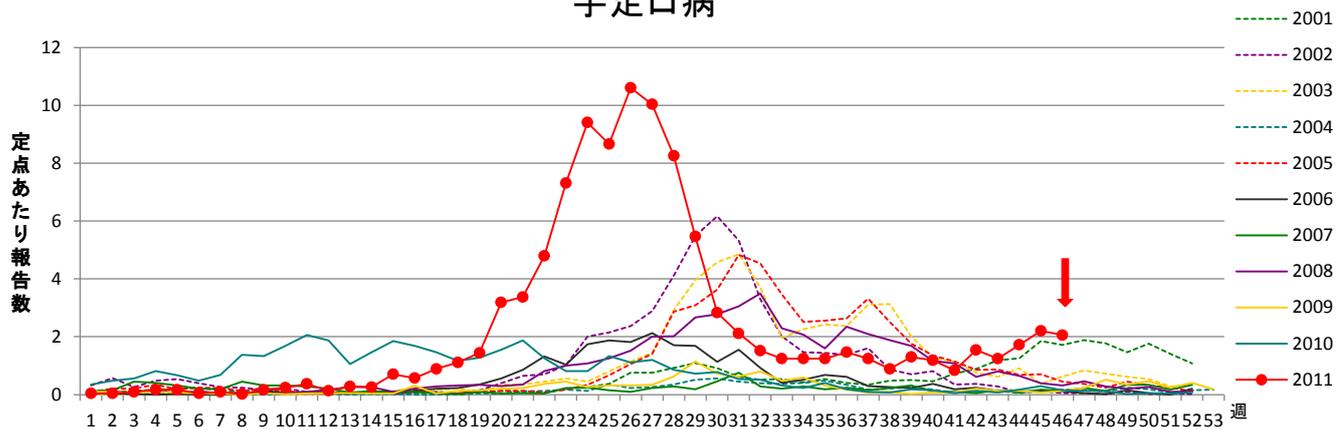
### 感染性胃腸炎



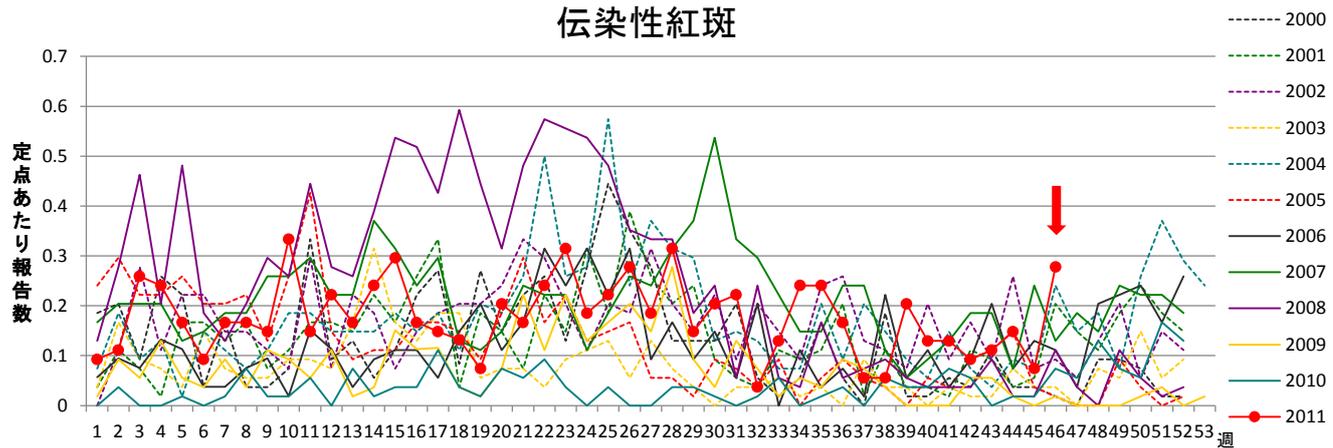
### 水痘



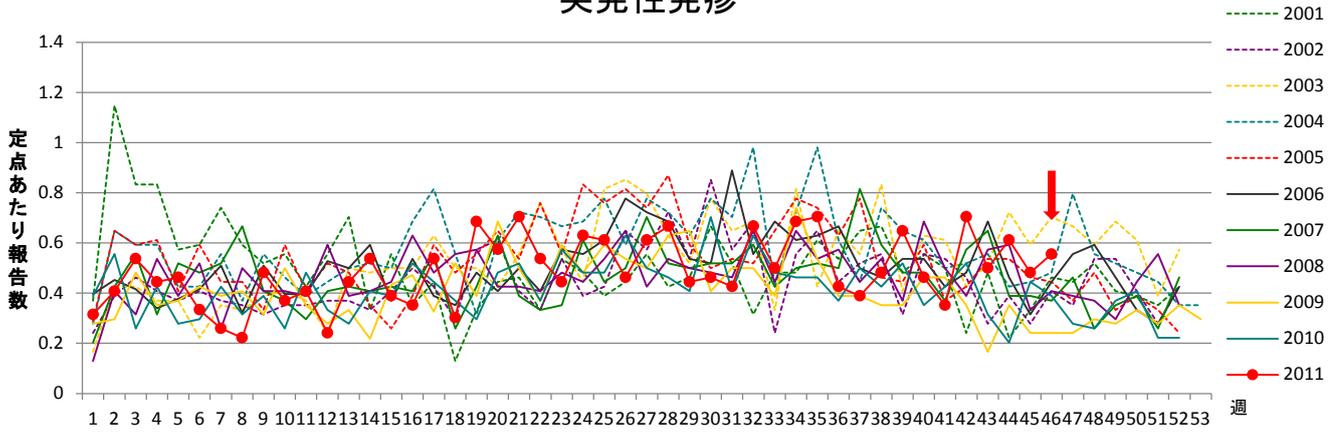
### 手足口病



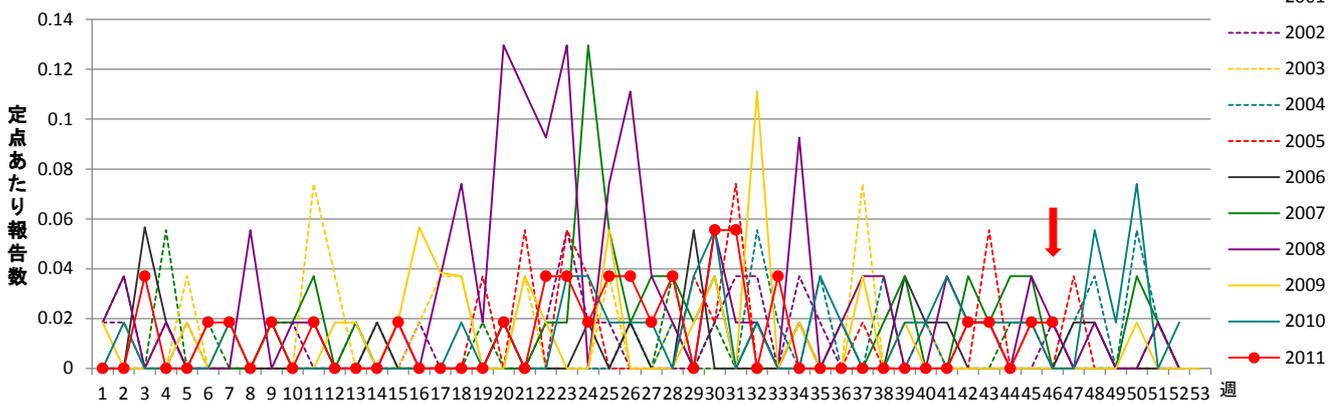
### 伝染性紅斑



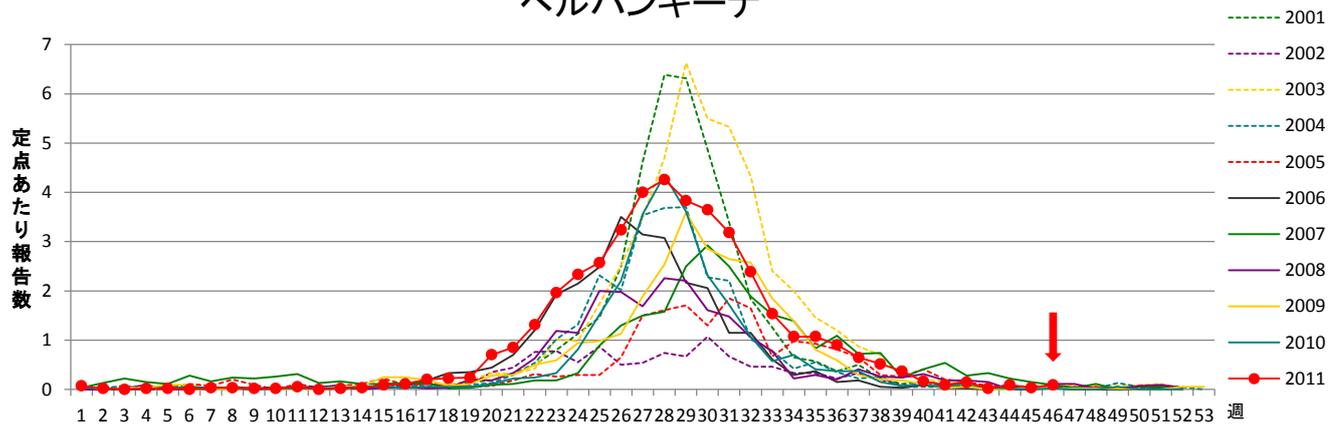
### 突発性発疹



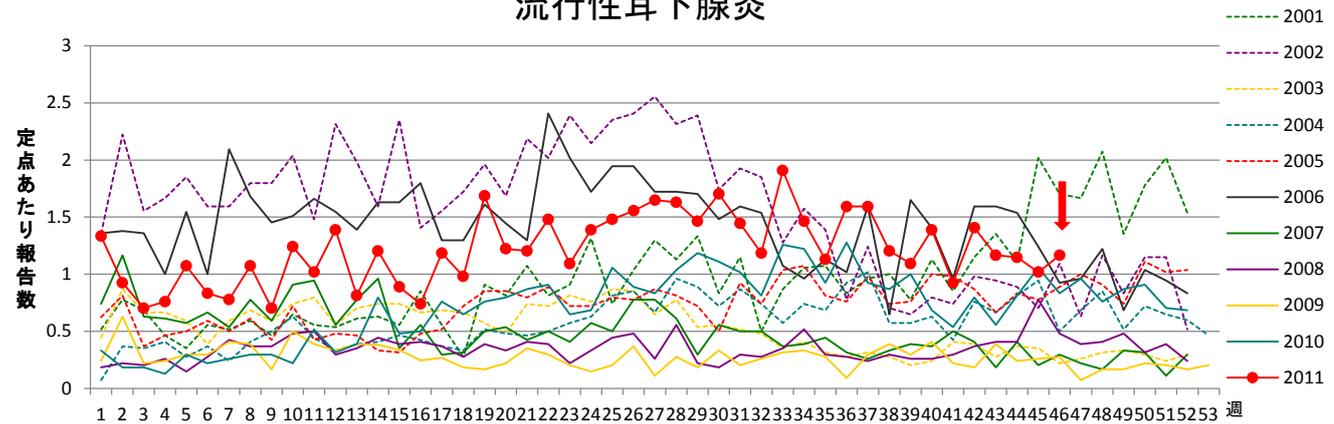
### 百日咳



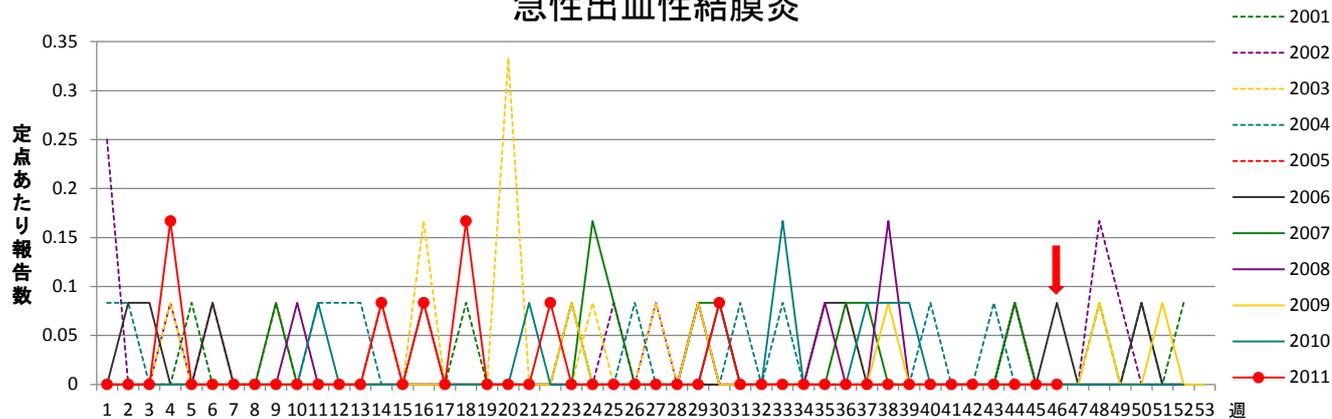
### ヘルパンギーナ



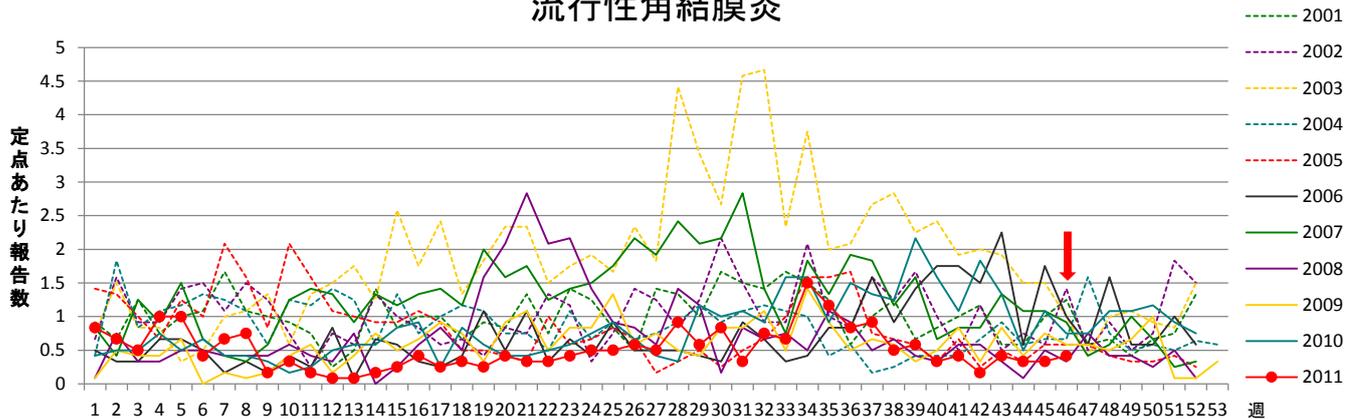
### 流行性耳下腺炎



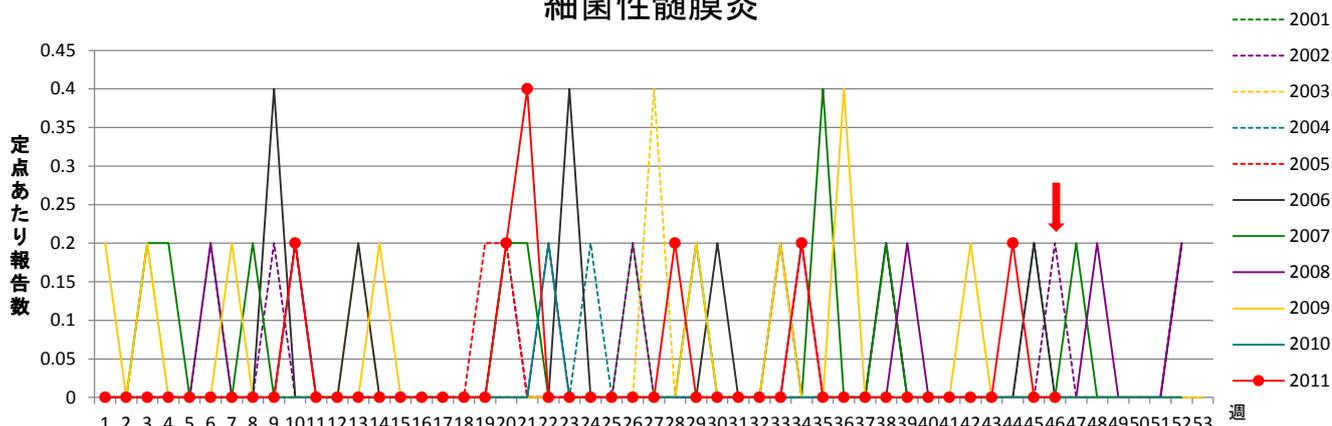
### 急性出血性結膜炎



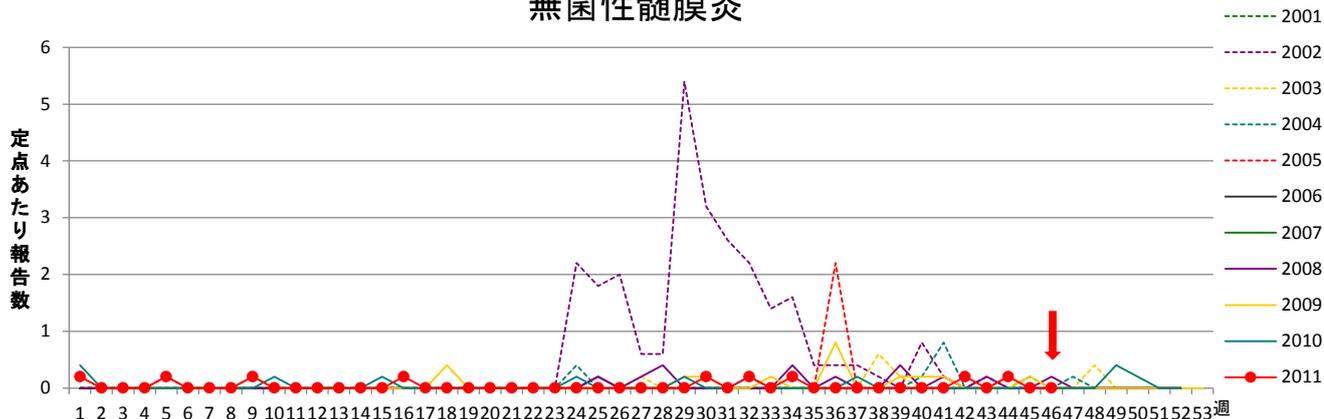
### 流行性角結膜炎



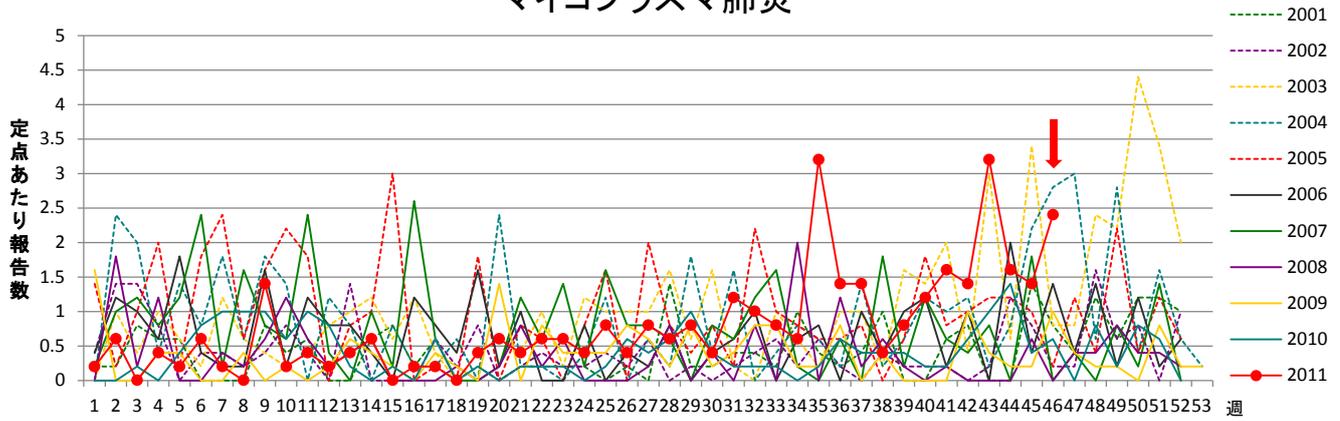
### 細菌性髄膜炎



### 無菌性髄膜炎



### マイコプラズマ肺炎



### クラミジア肺炎

